

令和 6年度 事業報告書



NPO 法人

TOKYO NOVYI ・ ART

1 事業の成果

この年、私たちは最も重要な作品を舞台化しました。今から千年も前、世界に先駆けて書き上げられた日本を代表する文学『源氏物語』です。

演出のレオニード・アニシモフは「この作品は、私の長い演出家人生の中で最も繊細で最も美しい作品であり、私の代表作です。レパートリーとして上演を重ねる中で、5年後、そして10年後には、信じられないほど美しい作品に成長するでしょう」と語り、俳優たちにさらなる完成へ向けての努力と精進を呼び掛けました。

「日本の文化、精神性の根幹には“女性的な優しさ”があります。『源氏物語』の中で描かれる多くの女性たちと光源氏との恋愛は、すべて相手への思いやりや優しい心遣いに貫かれています。それこそが“もののあはれ”の本質だと考えています。今の時代、私たち日本人がもう一度立ち返るべき文化の原点であり、ひいては現代において日本が世界に提示すべき重要なテーマになると思います」（レオニード・アニシモフ）

しかし、『源氏物語』の舞台化は、リハーサルにおいて難航を極めたのはもちろん、最大の障壁は資金面でした。大手劇団と比べれば、我々の制作予算は微々たる規模ですが、それでも100万、200万円を新たに捻出するのはかなり困難なことでした。さらに、いくつかの事情から舞台化が決まったのはギリギリの日程であったため、財政的な基盤を整える十分な時間はありませんでした。

そんな中、藁にもすがる思いでこれまで観劇いただいたお客様に寄付を募ったところ、約50万円の寄付が集まり、ちょうどタイミングよく相続財産寄付のお申し込みもあり、総額で約100万円超のご寄付をいただくことができました。認定NPOになったばかりの当初は、寄付をどう集めればよいのかも分からないところからのスタートでしたが、認定NPOとして10年目を迎える頃には、少しずつ多くの方に認知していただき、市民の皆様に支えられた認定NPOの劇団としては、市民の皆様に支えられた認定NPOの劇団として、本来あるべき、市民の皆様と共に歩む形が少しずつ実現できているように感じています。

理事長 岡崎弘司

2. 事業の実施に関する事項（特定非営利活動に関わる事業）

<演劇の公演事業（定款 5 条-1）>

1）令和 6 年 12 月 紫式部『源氏物語』能楽堂公演（初演）

2）令和 7 年 5 月 紫式部『源氏物語』能楽堂公演（再演）

日本の不朽の名作『源氏物語』を、伝統的な能舞台で体験

千年前に卓越した女性作家・紫式部によって書かれた日本古典文学の礎『源氏物語』を、ロシアの著名な演出家 L・アニシモフが舞台化。伝統的な能舞台で日本人キャストが演じる 2025 年 5 月の再演は、日本の伝統に根ざした洗練された演劇体験を目撃できる貴重な機会となりました。

『源氏物語』は、千年前に宮廷女官・紫式部によって書かれた日本文学の金字塔であり、世界最古の小説とも称される作品です。

演出家 L・アニシモフは、2004 年より TOKYO NOVYI ART 劇団の芸術監督を務め、数多くの高い評価を受ける作品を手掛けてきました。日本神話『古事記』や近松門左衛門の 300 年前の戯曲『曾根崎心中』の舞台化は、国際演劇祭に正式招待され、東西文化の見事な融合として国際的な称賛を得ています。

様式的に完成された能舞台は、ミニマルな舞台装置が特徴です。能舞台の象徴である背景の壁に描かれた荘厳な松の絵を背に、俳優たちの動きと物語を存分に味わうことができます。

衣装デザイナー時広真吾は、日本の着物の精緻な生地をしばしば活用し、視覚的に印象的な衣装を創り出します。シンプルながら印象的な彼のデザインは多くのファンを魅了し、海外公演でも高い評価を得ています。

日時： 2025 年 12 月 7 日（土）、8 日（日）午後 2 時開演（初演）

2025 年 5 月 11 日（日） 午後 2 時開演（再演）

会場： 梅若能楽学院会館

<主なスタッフ>

演 出：レオニード・アニシモフ

上演台本：中澤 由佳／
TOKYO NOVYI・ART

和の発音指導： 中村 明一

音 楽： 町田 育弥

ムーブメント指導： 山本光洋

衣 装： 時広真吾（リリック）

発音指導： 橘 貴美子

通 訳： 大坂陽子・上世博及

宣伝美術： 瀧山真太郎



＜演劇芸術に関わる人材育成支援事業（定款 5 条-2）＞

日本で唯一、ロシアの一流演劇大学と同じ水準でスタニスラフスキー・システムを学ぶことができる、本格的なアカデミーを開校。本場ロシアの演劇学科 3 年間で学ぶ『役作り』の全行程を、10 ヶ月間に凝縮して修得する。
（当期は、第 12 期生）オンライン授業を併用し、受講者の学習の充実を図る。

＜主なスタッフ＞

アカデミー校長	： レオニード・アニシモフ	映像クラス講師	： 大坂 陽子、天満谷 龍生、 川北 裕子、荻久保 則男
事務局 長	： 大坂 陽子		
映像配信テクニカルサポート	： 鈴木 正尚	アシスタント	： 瀧山 真太郎
通 訳	： 大坂 陽子、上世 博及		



＜演劇芸術に関する情報発信事業（定款 5 条-3）＞

現在、海外向けに情報や映像の配信を行うための準備（翻訳その他の作業）を進めています。
次年度に幾つか公開していける見込みです。

英訳版「スタニスラフスキーへの道」電子書籍 Kindle 出版（発行準備中）

＜主なスタッフ＞

翻 訳	： 大坂 陽子、上世 博及
出版事務	： 岡崎 弘司

＜演劇芸術を通しての国際文化交流事業（定款 5 条-4）＞

今年度、大きな活動はなし。

＜演劇芸術を通しての地域文化支援事業（定款 5 条-5）＞

今年度、大きな活動はなし。

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【10,027】千円)

定款に記載 された事業名	事業内容	日時	場所	従事 者数	受益対象者 範囲・人数	事業費 (千円)
演劇の公演事業 (定款5条-1)	<古典作品の素晴らしさを広めるための公演活動> 1) 紫式部『源氏物語』能楽堂公演(初演)	令和6年12月 7日~8日 (2公演)	梅若能楽学院会館 (東京都中野区)	30 名	一般人 300人	3,748 (千円)
	<古典作品の素晴らしさを広めるための公演活動> 2) 紫式部『源氏物語』能楽堂公演(再演)	令和7年5月 11日 (1公演)	梅若能楽学院会館 (東京都中野区)	30 名	一般人 173人	
演劇芸術に関 わる人材育成 支援事業 (定款5条-2)	【演劇芸術に関わる教育機関の運営】 「東京インターナショナル・スタニスラフスキー・アカデミー」	令和6年 10月9日 ~ 令和7年 7月9日	TOKYO NOVYI・ART (東京都世田谷区)	8人	一般人: 31人 [内訳] 対面クラス: 20名 オンライン: 11名	6,279 (千円)
演劇芸術に関 する情報発信 事業 (定款5条-3)	【海外へ向けてのコンテンツ発信】 台本の翻訳作業や、過去の映像記録をもとに字幕を作成したりなど、海外に向けて、日本の芸術文化を発信する活動を進めている。	通年	TOKYO NOVYI・ART (東京都世田谷区)	4~ 5人	不特定多数	0 (千円)
演劇芸術を通 しての国際文 化交流事業 (定款5条-4)	今年度、大きな活動はなし。					0 (千円)
演劇芸術を通 しての地域文 化支援事業 (定款5条-5)	今年度、大きな活動はなし。					0 (千円)